



住民検診 一般検診

自分の健康は自分で 早期発見の決め手となる検診

「健康でありたい」それは、私たちがだれもが望んでいることです。

しかし、体の具合が悪くならないと、つい健康のチェックは忘れてしまいます。

住民検診

今年も九月十日から二十八日まで、住民検診・一般(循環器)検診が行われました。

住民検診では、胸部のレントゲン撮影を行い肺の異常を発見します。結核は今ではそれほど恐い病気ではありませんが、発見が遅れると長期間療養しなければならぬ、やっかいな病気です。

今年も四、一八〇人の方が検診を受け、そのうち一三四人が二次検診になりました。

一般検診

一般(循環器)検診は、四十

歳以上の方を対象に血圧測定・尿検査などを行いました。

この検診で血圧、じん臓、肝臓など、成人病の疑いのある人で、精密検診にまわった人は二八六人いました。

病気が初期の段階で治療すれば治ります。そのためにも精密検査は必ず受けるようにしましょう。

下の表は今年の五月、国民健康保険加入者がお医者さんにかかった件数と費用額の状況です。

この表でもわかるように、成人病の一つ、高血圧で医者にかかった人がトップです。

成人病には自覚症状はありません。これを機会に今一度、自分の健康をチェックしてみたいかがですか。

1ヶ月に国民健康保険で扱った医療費

(昭和59年5月診療分)

件数	種類	費用額	万円
61 1000	がん	500	277
105	糖尿病	1000	274
72	精神病	1500	343
1,017	高血圧	2000	1,690
529	のど・鼻		388
213	胃・十二指腸		402
105	じん臓・ぼうこう		371
143	皮膚病		156
232	骨折・腰痛・筋肉痛		288
130	けが		356
319	神経、眼、耳		229
178	その他科		154
679	歯科		528
総件数 3,783件	合計	総医療費	54,557,520円

